

経済学部 A 方式 I 日程・社会学部 A 方式 I 日程・現代福祉学部 A 方式

## 3 限 選択科目 (60 分)

科目	ページ	科目	ページ
政治・経済	2～16	日本史	18～30
世界史	32～41	地理	42～48
数学	50～51		

## 〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - ・解答用紙の所定の欄に受験学部を○で囲むこと。
  - ・解答を導く途中経過も書くこと。
  - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。
  - ・定規, コンパス, 電卓の使用は認めない。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答は HB の黒鉛筆でマークすること(万年筆, ボールペン, シャープペンシルなどを使用しないこと)。

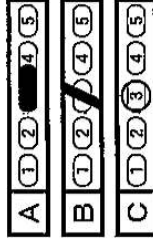
## 記入上の注意

1. 記入例 解答を 3 にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり, 折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日本史)

[I] 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

8世紀初頭に大宝律令がつくられ、律令制度によって統一国家としての仕組みが整っていった。中央の行政は、行政全般を管轄する (a) の公卿による合議によって進められた。地方組織としては、全国を畿内・ (イ) に区分して、国・郡・里がおかれて、国司・郡司・里長が任じられた。国司には、中央の貴族が派遣され、役所である国府を拠点に国内を統治した。郡司はもとの (b) など伝統的な地方豪族が任じられ、郡の役所である郡家を拠点として郡内を統治した。

桓武天皇は794年に、 (ロ) 国の葛野郡に都を移した。また、地方政治の改革に力を入れ、 (c) を新たに設けて、国司の交替に際した事務の引き継ぎを厳しく監督させた。当時、徴兵制による軍団は、兵士の質が低下していたので、郡司の子弟などで弓馬にたくみな者を (ハ) とする新しい軍事制度を設けた。また (ニ) を半減したり、6年ごとの班田を12年ごとに改めて励行をはかったりしたが、一方で都の造営事業と東北への軍隊の派遣という二大事業は、政府の財政難をもたらし、さらに労役に対する民衆の不満を増大させた。

9世紀の半ばには、藤原氏とくに北家が天皇家との結びつきを強めてほしいに勢力をのばした。藤原冬嗣は嵯峨天皇のあつい信任を得て (d) となり、皇室と姻戚関係を結んだ。そして、858年に (1) が摂政に任じられ、ついで884年に (2) が関白となり、藤原氏の政治的地位は、ますます強まった。以後、藤原氏が代々摂政・関白に任じられ、摂関家として国政を左右するようになっていった。また、9世紀末から10世紀にかけて地方政治が大きく変化していくなかで、地方豪族や有力農民は、勢力を維持・拡大するために武装するようになり、各地で紛争が発生した。

1086年、 (3) は、位をゆずって院庁をひらき、天皇を後見しながら政治の実権をにぎる院政の道をひらいた。院政期には、上皇の命令を伝える

〔※〕が権威を持ち、摂政・関白の地位も上皇に左右されるようになった。私的な土地所有が展開され、院や大寺社、武士が独自の勢力を形成するなど、広く権力が分化していくこととなり、社会を実力で動かそうとする風潮が強まった。武士たちの間では、所領をめぐる争いが激しくなり、12世紀のなかごろは、天皇家、摂関家では、それぞれの内部で争いが絶えなかった。その後、それらの争いを勝ちあがり、平清盛が、武家の棟梁としてはじめて政権を成立させた。

平氏とのたたかいに勝利し、源頼朝は、1192年に征夷大將軍に任じられた。頼朝の死後、有力な御家人のあいだで政治の主導権をめぐる激しい争いが続き、その中で北条氏が勢力をのばし、北条時政が幕府の実権をにぎった。その後、北条氏による執権政治が行われ、〔(4)〕は、1232年に、武家法の根本法典とされる御成敗式目51カ条を制定した。当時の武士は、先祖以来の地に住み着いて、所領を拡大してきた。それぞれは、一族の血縁的統制のもとに、宗家の首長である〔(2)〕を指揮官としてあおぎ、活動を広げていった。

問1 文中の空欄〔(1)〕～〔(4)〕にあてはまるもつとも適した人名を、

下記のあ～すから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	北条泰時	い	藤原基経	う	後三条天皇	え	藤原道長
お	白河天皇	か	醍醐天皇	き	北条時頼	く	北条時宗
け	藤原良房	こ	北条義時	さ	藤原頼通	し	藤原清衡
す	鳥羽天皇						

問2 文中の空欄〔(a)〕～〔(d)〕にあてはまるもつとも適した語句を、

下記のあ～しから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	検非違使	い	守護	う	勘解由使	え	国人
お	管領	か	太政官	き	藏人頭	く	国造
け	追捕使	こ	太政大臣	さ	検田使	し	御内人

問3 文中の空欄 (イ) ~ (ハ) にあてはまるもつとも適した語句を、  
下記のあ〜つから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

あ	申文	い	長岡	う	健児	え	大犯三カ条
お	雑徭	か	山背	き	国府	く	八省
け	軍役	こ	院宣	さ	惣領	し	負名
す	令旨	せ	七道	そ	本所法	た	年貢
ち	難波	つ	検地				

問4 下記の①から⑥の項目に関するア〜エの記述のうち誤っているものを選択し、その記号を解答欄にマークせよ。誤りがないときはオを選び、マークせよ。

① 律令官制

- ア 五位以上の官人の子には、蔭位の特権があった。
- イ 五位以上の官人には、位田が与えられた。
- ウ 四等官制では、いずれの役所の役職についても、卿、輔、丞、録の役職名を用いた。
- エ 官位相当の制とは、官人がその位階に相当する官職に任じられる制度のことを言う。

② 奈良時代の人物

- ア 長屋王 — 藤原不比等の死後左大臣となったが、謀反の意図があると見て、藤原宇合らに邸を囲まれ、一族とともに自殺した。
- イ 光仁天皇 — 道鏡を追放し、行政簡素化・財政緊縮を目指して官人の減員をはかった。
- ウ 吉備真備 — 唐への留学経験があり、経史・兵法に通じた学者政治家として、橘諸兄の政権に顧問格として参画し、後に右大臣となった。
- エ 光明皇后 — 深く仏教を信じ、悲田院、施薬院を設け、孤児や病人を救った。

③ 摂関政治期における事件・抗争

- ア 承和の変 — 皇太子恒貞親王派の伴健岑・橘逸勢らが謀反を企てたとして隠岐・伊豆に配流された。
  - イ 安和の変 — 左大臣源高明を藤原氏が失脚させた事件で、これを契機に藤原氏の権力が全盛をむかえた。
  - ウ 応天門の変 — 大納言伴善男が左大臣源信の失脚をねらって朝堂院の正門に放火したが、発覚して伊豆に配流された。
  - エ 阿衡の紛議 — 藤原時平と宇多天皇の政治的抗争で、後に時平は、関白としての政治的立場を強化した。
- ④ 平安時代の服装
- ア 水干 — 平安中期以降、庶民男性の実用服として使われた。
  - イ 衣冠 — 平安中期以降、女官の正装として使われた。
  - ウ 直衣 — 平安中期以降、公家の男性の平常服として使われた。
  - エ 束帯 — 平安中期以降、公卿の男性の正装として使われた。

⑤ 鎌倉時代の人物

- ア 安達泰盛 — 御家人の有力者で、蒙古襲来ときは御恩奉行であり、霜月騒動で平頼綱一族を滅ぼした。
- イ 大江広元 — 公家出身の政治家で源頼朝に招かれ、公文所の初代別当となる。
- ウ 三浦泰村 — 有力御家人で評定衆となったが、やがて北条時頼と対立し、一族とともに滅ぼされた。
- エ 比企能員 — 将軍家の姻戚として権勢を得たが、北条氏追討を計画して失敗し、北条時政に討たれた。

## ⑥ 蒙古襲来

ア 異国警固番役 — モンゴル軍の襲来に備えて、九州北部と長門国の沿岸防備のため編成された。

イ 弘安の役 — 2度目の蒙古襲来のことで、江南の慶元から進発した東路軍が博多を攻めた。

ウ 鎮西探題 — 西国防備と九州統治強化のため、鎌倉幕府の役職として博多に派遣された。

エ フビライ — モンゴル帝国第5代皇帝であり、国号を元と改め初代皇帝となり、日本を2度にわたって攻めた。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

江戸時代、が・野呂元丈に語を学ばせたことが大きな契機となって、蘭学が本格的に起こった。杉田玄白らが翻訳して1774年に出版したは、蘭学の画期的な成果であり、また、蘭学発展の推進力ともなった。

その後、杉田玄白らに蘭学を学んだは江戸でを開いて門人を育てた。幕府は1811年、をしていた高橋景保の建議で蛮書和解御用を設け、外国文書の翻訳にあたらせた。後にの門人は

『ハルマ和解』をつくった。

(a) また、商館医で人のシーボルトは郊外に診療所とを開き、在日中に多くの日本人門下生を養成した。その中には、

『戊戌夢物語』を書いたもいる。

(b) その後シーボルトは国外追放の処分を受け、または1839年、で永年に処された。

幕末にはで緒方洪庵がを開いて優れた蘭学者を多く輩出した。蘭学はまた、幕府及び諸藩の軍備充実のために大いに利用された。幕府はから蒸気船を贈られたのを機に、1855年、に海軍伝習所を設け、ここではから招かれた海軍将校が教官となって、海軍に関する諸学を教授した。

(d) 湯島聖堂の学問所を、幕府は1797年に官立に改めた。これは昌平坂学問所とよばれた。各藩も藩士子弟の教育のための藩学を設立するようになり、また藩士や庶民の教育を行う郷学<sup>(e)</sup>もつくられるようになった。

18世紀には、武士・学者・町人によって民間の私塾が各地に開かれていった。の代表的豪商、三星屋武右衛門らが首唱者となって1724年に設立されたでは、初代学主、三宅石庵が、特定の学派にこだわらない柔軟な学問教育を行い、その後1869年の廃校に至るまで、庶民の学校として存続した。受講生の中から富永仲基らを輩出している。ではが心学を

おこし、商行為の正当性と正直・孝行・倏約などの日常道徳を説いた。心学はその後、らによって各地に心学講舎が立てられ、全国に広められた。

また、後にで死刑に処される、のは、叔父が開いた松下村塾を受け継ぎ、幕末維新期に活躍する多くの人々を育てた。

問1 文中の空欄～にあてはまる人物名を下記のa～xから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a	新井白石	b	安藤昌益	c	青木昆陽	d	石田梅岩
e	稲村三伯	f	宇田川玄随	g	手島堵庵	h	大槻玄沢
i	貝原益軒	j	佐久間象山	k	佐藤信淵	l	高野長英
m	山脇東洋	n	徳川吉宗	o	徳川綱吉	p	中井竹山
q	西川如見	r	塙保己一	s	平賀源内	t	本多利明
u	前野良沢	v	松平定信	w	吉田松陰	x	渡辺崋山

問2 文中の空欄～にあてはまる語句を下記のa～pから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a	若年寄	b	奥右筆	c	学問所奉行
d	懷徳堂	e	咸宜園	f	小石川養生所
g	古義堂	h	書院番頭	i	芝蘭堂
j	洗心堂	k	奏者番	l	適塾
m	天文方	n	藤樹書院	o	鳴滝塾
p	花島教場				

問3 文中の空欄～にあてはまる国名を下記のa～hから選び、その記号を解答欄にマークせよ。同じ国名を二度以上選んでもかまわない。

a	アメリカ	b	オランダ	c	スペイン	d	中国
e	ドイツ	f	フランス	g	ポルトガル	h	ロシア



問4 文中の空欄  ～  にあてはまる地名を下記の a ～ n から選び、その記号を解答欄にマークせよ。同じ地名を二度以上選んでもかまわない。

- |   |    |   |    |   |      |   |      |
|---|----|---|----|---|------|---|------|
| a | 会津 | b | 江戸 | c | 大坂   | d | 近江小川 |
| e | 京都 | f | 神戸 | g | 鹿児島  | h | 仙台   |
| i | 長崎 | j | 萩  | k | 豊後日田 | l | 横浜   |
| m | 米沢 | n | 水戸 |   |      |   |      |

問5 文中の空欄  ～  にあてはまる語句を下記の a ～ h から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |        |   |        |   |          |
|---|--------|---|--------|---|----------|
| a | 『解体新書』 | b | 『群書類従』 | c | 『西説内科撰要』 |
| d | 『蘭学階梯』 | e | 安政の大獄  | f | 蛮社の獄     |
| g | 宝暦事件   | h | 明和事件   |   |          |

問6 下線部(a)の説明として正しいものを下記の a ～ d から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 「ターヘル・アナトミア」を日本語に翻訳したものである。
- b 上下二巻からなり、上巻では、蘭学の意義と発達の歴史をまとめている。
- c ボルトガル語の医学研究書を翻訳するために編まれた、医学に関する専門用語辞典である。
- d オランダの書籍商がユトレヒトで出版した蘭仏辞典を底本とする、蘭日辞書である。

問7 下線部(b)はある事件を題材に、幕府の外交政策を批判した書物である。その事件とは何か。下記の a ～ d からあてはまるもの一つを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |   |           |   |         |   |          |
|---|-----------|---|---------|---|----------|
| a | ゴローウニオン事件 | b | シーボルト事件 | c | フェートン号事件 |
| d | モリソン号事件   |   |         |   |          |

問8 下線部(c)について、シーボルトが国外追放の処分を受けた直接の理由は何か。下記のa～dから正しいものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a シーボルトが、帰国する際に日本の地図を入手したことが発覚したから。
- b シーボルトが診療所で行った蘭学にもとづく治療行為に、問題があったことが発覚したから。
- c シーボルトが、自分が主宰する塾で、ヨーロッパの政治思想を積極的に紹介していたことが発覚したから。
- d シーボルトが、自分が主宰する塾で、沿岸に来た外国船を撃退した幕府の外交政策を批判したことが発覚したから。

問9 下線部(d)の学問所で正学として教えられた学問は何か。下記のa～fからあてはまるものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 漢学      b 国学      c 古学      d 朱子学      e 石門心学
- f 蘭学

問10 下線部(e)の郷学の一つ、閑谷学校は、どこの藩が設立したのか。下記のa～hからあてはまるものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 会津藩      b 岡山藩      c 薩摩藩      d 高松藩
- e 土佐藩      f 長州藩      g 水戸藩      h 米沢藩

〔Ⅲ〕 次の文章A, Bを読み, 下記の問いに答えよ。

A 中国側の強力な抵抗により, 軍部の予想に反して日中戦争が泥沼化するにしがたがい, 長年日本が外交上の強い結びつきをもってきたアメリカや  A と日本の対立は深まっていった。とりわけ,<sup>1)</sup>ヨーロッパにおけるドイツの優勢な状況が伝えられると, 日本の支配層にはドイツ,  B との同盟関係の強化と, 軍需資材の獲得などを目的とした南方への進出への気運が高まり, やがて日本軍は  C 領インドシナへの進駐を強行する。アメリカ,  A などの国々は, 日本のごうした動きに対して,<sup>4)</sup>経済封鎖を強めていった。

問1 文中の空欄  A ~  C にあてはまるもつとも適した国名を下記から選び, その記号を解答欄にマークせよ。

ア	ソ連	イ	イギリス	ウ	フランス
エ	スペイン	オ	カナダ	カ	イタリア
キ	オーストラリア	ク	ポルトガル		

問2 下線部1)について, 第二次世界大戦開始のきっかけは, ドイツによるどの国への侵攻であったか。下記のア~オから一つ選び, その記号を解答欄にマークせよ。

ア	ノルウェー	イ	スペイン	ウ	オランダ
エ	ポーランド	オ	フィンランド		

問3 下線部2)について, 下線部3)「インドシナへの進駐」と同年に結ばれた「同盟関係」を記したのもとして, 下記のア~エの文章から誤っているものをすべて選び, その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合は, オをマークせよ。

ア 共産主義の拡大を阻止するための共同防衛を, 主たる目的としている。  
イ 三国は, 日中戦争や世界大戦に参戦していない国からの攻撃に対して, 相互に援助しあうことを約した。  
ウ この同盟ではソ連が仮想敵国と想定されていた。  
エ この同盟の締結は, アメリカの日本に対する反発を決定的なものとした。

問4 下線部4)の「経済封鎖」について述べた下記のア～エの文章のうち、正しいものをすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 軍部はこの時期、各国の対日経済封鎖について、America, Britain, Canada, Dutch 四カ国の頭文字をとって、ABCD 包囲網(あるいは包囲陣)と呼んだ。

イ アメリカは、日本の南進開始後ただちにハル・ノートを提示して、経済封鎖を開始した。

ウ イギリスは、日本の南進への対抗措置として、日英同盟の破棄を通告した。

エ アメリカは、日本の南進への対抗措置として、石油の対日輸出禁止を發動した。

B 「……閣議は二時から開催せられたが、それ以前自分は総理<sup>1)</sup>に閣議の結果は意見の一致困難があると思ふが、その場合には聖断を仰ぐ以外に方法なしと思ふが、それ以前陸相の辞職等に依り内閣の機能を發揮し得られないことのないやうに注意してほしいことを内話した。尚その際松本次官が来て外務省内の多数もこの際多数条件を提出しないやうにと希望して居るとの話があった。閣議では、自分から A との交渉経過、原子爆弾使用、A の参戦に付き説明を加へ、急速なる戦争終結の必要なることを説き、(中略)「ポツダム」宣言<sup>2)</sup>を受諾すべきことを述べた。」

東郷茂徳『時代の一面 大戦外交の手記』(初刊1952年)一部改変

問1 下線部1)は誰のことを指しているか、あてはまる人名を、以下のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 鈴木貫太郎    イ 吉田茂    ウ 東条英機    エ 広田弘毅  
オ 米内光政

問2 文中の空欄 A にあてはまる国名を、以下のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア オランダ      イ イギリス      ウ ソ連      エ フランス

問3 下線部2)「ポツダム」宣言について、下記の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1) ポツダム宣言の署名に加わった国を、以下のア～カからすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 中華民国      イ スイス      ウ イギリス      エ フランス  
オ オランダ      カ アメリカ

(2) ポツダム宣言には、「カイロ」宣言ノ条項ハ履行セラルヘク」というくだりがある。下記のア～カは、そのカイロ宣言かポツダム宣言に関連する文章であるが、このうち誤っている文章をすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア カイロ宣言を発表した会談(以下、カイロ会談とする)への参加国は、

アメリカ、イギリス、中華民国である。

イ カイロ会談では、連合国が日本の無条件降伏まで戦うことが約束された。

ウ カイロ会談では、ソ連の日本への参戦が、内密に了承された。

エ 7月下旬のポツダム宣言発表後、当時の内閣はいったんこれを「黙殺する」と言明した。

オ ポツダム宣言では、第一次大戦後に日本が取得した領土の返還や朝鮮の独立など、初めて日本の領土処分問題が検討され、盛り込まれた。

カ ポツダム宣言では、日本の戦争犯罪人に対する厳重な処罰とともに、言論・思想の自由、基本的人権の尊重など国内の民主化が必要とされた。

問4 問題文Bは、1945年8月9日について記された文章である。下記はその前

後の出来事を記したものであるが、年代順に並べたとき、正しい順序は末尾ア～オのどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

a アメリカ軍上陸から3か月近くの戦闘を経て、沖縄での組織的戦闘が終了する。

b 広島に原子爆弾が投下される。

c ポツダム宣言を受諾して、日本が降伏する。

d 連合国軍の本土上陸により、イタリアが降伏する。

e ベルリンでヒトラーが自殺して間もなく、ドイツ国防軍が降伏する。

ア e — d — b — a — c

イ d — e — b — a — c

ウ d — e — a — b — c

エ a — d — b — c — e

オ d — a — b — c — e

(白紙)